

連携先世界遺産：東寺(教王護国寺)

本科目が取り組んだ課題・改善事項

東寺の歴史を後世に伝えられるオリジナル絵巻を制作する。東寺の逸話を可視化することでイメージしやすくし、様々な方に寺に親しみを持ってもらう。

■ 受講生

石川 愛子 (京都市立芸術大学・美術学部・4回生)、中村 錬 (立命館大学・経済学部・3回生)、
水野 真緒 (京都市立芸術大学・美術学部・3回生)、徳山 明穂 (京都工芸繊維大学・工芸科学部・3回生)、
坂 万里子 (京都市立芸術大学・美術学部・4回生)、山口 篤子 (京都市立芸術大学・美術学部・3回生)
山倉 佐恵子 (京都学園大学・人間文化学部・3回生)

■ 担当教員

宇野 茂男 (京都市立芸術大学・美術学部・教授)

活動目的・概要

この東寺PBLの目標は私たちの作成した絵巻物を通して、東寺の歴史を幅広い方々に知っていただく事です。絵にすることで小さい子供やお年寄りの方にも東寺の歴史を分かり易く伝えることが出来ます。東寺の歴史は密教の歴史といっても過言ではありません。多くの人に歴史的建造物としての東寺以外にも密教文化としての東寺の面白さを伝えることが出来たらと思います。

活動の内容としては、まず東寺の今までの歴史や逸話のお話を伺い、そこから絵巻にしたい点や東寺を訪れる方に伝えたいと思った点をまとめていきました。その後レイアウトや配置などの検討を重ね、どうすれば絵巻を見た方に楽しんで頂けるかを念頭において絵巻の作画、彩色を行いました。完成後には、東寺、総務部長の砂原氏に、東寺の魅力伝える資料として活用してもらい、多くの人の目に触れてもらうことで目標を達成することが出来ると思います。期待できる効果といたしましては、絵巻を見て東寺の伝説に興味を持った人たちの多くの来場が期待できるかと思われまます。



◆ 主な活動

- 2015. 4. 15 ガイダンス
 - 2015. 4. 22 東寺さん訪問・ご挨拶
 - 2015. 5. 9 インタビュートレーニング
 - 2015. 5. 13 東寺・砂原氏にインタビュー
 - 2015. 5. 20 東寺インタビューに向けた準備
 - 2015. 5. 27 インタビュー文字起こし、振り返り
 - 2015. 5. 30 全体オリエンテーション
 - 2015. 6. 3 インタビュー分析、絵巻に描くテーマ、エピソード、対象物を絞る作業を実施
 - 2015. 6. 10 東寺学芸員・新見氏にインタビュー
 - 2015. 6. 17 インタビュー振り返り
- 今後の作業に向けて、必要な追加資料や情報を整理し、役割分担を実施。↑

- 2015. 6. 17 絵巻の形式の学習
【各自で絵巻の下絵の構想を練る】
- 2015. 7. 22 京都市立芸術大学のキャンパスで、絵巻の下絵の制作実習。
【各自で絵巻の制作作業】
- 2015. 8. 24 下絵の内容を、東寺関係者に確認
- 2015. 10~12 絵巻の彩色、表具等の作業
展示に向けての東寺さんとの調整
- 2015. 12. 5 成果発表会

活動の成果

東寺絵巻「土一揆」

制作した、絵巻のなか「土一揆」のシーンその1

【詞書】

1486年、借金を取り消してもらおうと、貧しい農民たちが東寺さんに集まってきました。

お坊さんは「こんなにたくさん来られては かなわんなあ〜・・・」と。

困り果てました。

そして困ったお坊さんは、室町幕府に助けを求めました。

すると おおいそぎで、たくさんのおじさんたちが刀や弓を持って馬に乗ってやってきました。





活動を振り返って

東寺さんのインタビューでは、初めは絵巻物を作る上でイメージを膨らませることを重視して、質問内容を考えていました。

しかし、このインタビューを通して日本の歴史全体にまでつながることや、様々な興味深いお話をたくさん聞くことができ、私たちが個々に知りたいことも徐々にバリエーションが増えてきて、それがとてもおもしろかったです。

とても勉強になったし、視野も広がりました。

担当教員からのコメント

他大学からの専攻の学生を含め、少人数ではありましたが、ここまで出来たことを嬉しく思います。

絵巻は、絵画と違いストーリーを考えそれに合わせシーンを想像しながら描く作業であり、アニメーション制作と同じです。多くの人の手によって作られています。その作業は、絵が描けるものだけでは難しいことです。そこをうまく個々の学生が力を発揮して一つのチームとなり作業を行って来れたのではないのでしょうか、その作業の難しさは、私を含め学生も実感したことだと思います。

ここまで、頑張ってきた学生に感謝します。

活動資料

